

《編集・発行》
 上尾市補導委員連絡協議会
 上尾市少年愛護センター
 上尾市上町2-14-19
 TEL. 048-775-1444
 FAX. 048-776-2117
 編集責任者 今川 修

上尾市補導委員だより くぬぎ

「くぬぎ」の愛称は雑木林のクヌギやコナラのように『青少年がたくましく成長してほしい』と願って名付けられたものです。

非行防止キャンペーン

7月6日(水)

上尾駅周辺にて各地区の補導委員と愛護センター職員で、非行防止キャンペーンのチラシと啓発品を配布しました。炎天下の中でも、市民の皆さんは心良く受け取ってくれました。

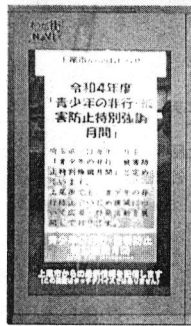


7月1日(金)~12日(火)



市内各地を広報車にて巡回し、青少年が事故や犯罪などにあわないように注意を呼びかけました。この活動によって少しでも青少年への感心を寄せて頂き、何かの際には相談できる場所がある事を知ってもらい、犯罪への抑止になってくれたらと思います。

7月1日(金)~31日(日)



イオンモール上尾1階ウエストコート・エスカレーター横にあるデジタルサイネージ(電子看板)に非行防止キャンペーンの案内を行いました。市役所・コミュニティセンター以外では初めての掲示でした。

11月18日(金)

官民合同 夜間一斉街頭補導活動

午後6時から上尾警察署、埼玉県警察本部少年サポートセンター、学生ボランティア「ピアーズ」、上尾警察署少年指導委員、上尾市少年補導委員、上尾市教育委員会、上尾市少年愛護センターによる「官民合同夜間一斉街頭補導活動」を実施しました。

警察官との夜間パトロールは普段の活動と違った街の様子を見ることができました。

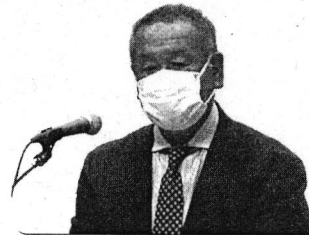
日中のパトロールでは気にならない場所でも、夜間だと暗く危ない場所が変わっていたりして、参考になることも多く、とても充実した時間となりました。

編集後記

コロナ禍3年目。各地区での活動も少しずつ行うことができるようになってきました。来年も子ども達の安全を見守っていきたいと思います。皆様引き続きご協力をお願いします。

会長あいさつ

上尾市補導委員連絡協議会
 会長 今川 修一



思いもよらない新型コロナウイルス感染症のまん延により、十分な活動ができない状況になって早3年。今年度は、委嘱式及び全体研修会、そして総会が3年ぶりに規模を控えめにしての開催となりました。

コロナに端を発した社会生活習慣の変容や成人年齢の引き下げなど、大人も子どもも不安な時代を生きています。

そうした中、相も変わらず耳に入るのは不審者の声掛け事案や悲惨な事件、また、SNSによるコミュニケーションが主流となることによる、顔の見えにくい社会といった話です。こんな時代だからこそ、出会った子供たちへの「愛のひと声」が必要なのではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が一日でも早く収束し、子どもたちが加害者にも被害者にもならない事が当たり前の日が来ることを皆様とともに願っております。

上尾市の補導活動について

上尾市の補導委員制度は、昭和40年代にはじまり青少年の健やかな成長を願い活動が続いています。現在、市長から委嘱された96人の補導委員の皆様が「みんなでかけよう愛のひと声」の合言葉のもと、雨の日も風の日も暑い日も寒い日も一年を通して声かけ(補導)活動を行っていただいています。日頃より、補導委員の皆様には、活動にご協力をいただき、深く敬意と感謝を申し上げます。

近年では、少年犯罪の発件数は毎年減少傾向にあるものの、殺伐とした世相を反映し、複雑化・巧妙化するケースが増加しています。そのような状況下で、補導委員の皆様への温かきをともなった「愛のひと声」は確実に、子どもたちに「大人は君たちをちゃんと見ているよ。」といったメッセージを届けてくれていることでしょう。

コロナ禍で人と接する機会が制限される中で補導活動となっていますが、各補導委員の皆様との連携を図りながら、青少年の非行防止に全力で取り組んでまいります。

《少年愛護センター》

大石地区 上松 絹代

上尾市の北西部に位置する自然豊かで起伏に富んだ地域が大石地区です。11名で協力し合いながら楽しく活動しています。公園やショッピングモール等では、子どもたちに「こんにちは！」と声をかけたり、帰宅を促したりしています。また、お店や保護者の方からは、最近の様子や気になること等を聞いています。子どもたちが笑顔で過ごせるよう、地域の皆様と共に見守りつつ、「愛のひと声」を届けていきたいと思っています。

上平地区 北川 景子

上平地区の補導委員は、再任2名、新任8名でスタートしました。上平地区は田んぼや畑など緑の多い地域です。小学校や氷川神社、いくつかの公園を回るコース。また、平塚公園、上平公園方面を回る2つのコースを巡回しています。公園で遊んでいる子どもたちには「遅くならないように、気を付けて帰ってね。」と声をかけると「はい」と元気な返事に嬉しくなります。これからも地域の子もたちをしっかりと見守っていききたいと思っています。

大谷地区 高野 住代

私達、大谷地区は再任3名、新任6名、計9名での補導活動がスタートしました。このコロナ禍で子ども達とのコミュニケーションがなかなか取れない活動ですが、林や公園に囲まれた自然豊かな大谷地区を自転車に乗り「こんにちは」「お帰りなさい」「気をつけて帰ってね」と言った「愛のひと声」を一人でも多くの子ども達に声かけが出来るよう、これからも地域の皆様とともに、頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

上尾第一地区 丸山佳代子

私達の上尾第一地区は、市内の公園や大型商業施設のゲームコーナーなど、子どもたちが集まりやすい場所を中心にパトロールをしています。地道な活動ですが、地域の皆様と共に見守る大切さを大事に活動していくつもりです。「地域の子どもは地域で守る」この言葉を心に、笑顔で「こんにちは」と声をかけをしていきたいと思っています。

代表者あいさつ

平方地区 江田しのぶ

大型の娯楽施設もなく、自然に恵まれた平方地区。自転車での巡回は坂道や北風に悩まされる事もあります。地域の皆さんの「こんにちは」の声に、元気をいただいています。社会環境が変化している昨今、子どもたちの行動も様変わりしており、公園等で過ごす姿を見かける事は少なくなりました。しかし、今後も地域の皆様にご協力をいただきながら子どもたちを見守り続けていきたいと思っています。

上尾第二地区 山口美代子

上尾第二地区は、今年度10名での活動をスタートいたしました。上尾駅を中心に東口、西口の公園やゲームセンター等を主に巡回、声かけを行っております。なかなか出口の見えない新型コロナ禍で、親も子どもも日常の行動が疲弊している中、パトロール中に「こんにちは」「車に気を付けてね」のひと声をかけることで少しでも心が「ほっこり」してもらえたらと思っています。

機動班 今川 修一

機動班は、毎週金曜日18時から20時まで、公園・ゲームセンター等を中心に市内全域を青パト2台で二手に分かれて巡回しています。活動の時間帯から、声かけの対象となる子どもたちは、中学生・高校生が中心です。子どもたちが悲惨な事件や事故に巻き込まれることのないよう「愛のひと声」を念頭に活動していきたいと思っています。

原市地区 牧内美津恵

早いもので補導委員になってから、11年目に突入しました。原市地区は、原市と瓦葺を活動範囲としています。さいたま市見沼区と隣接しているため、さいたま市の防犯情報も気にかけて活動しています。コロナ禍で何かと不自由な生活を強いられる中、子どもたちが笑顔で過ごせるように、他の補導委員の皆さんと「愛のひと声」を心掛けて活動を行います。

みんなで「愛のひと声」

